

皆様の暮らしと住まいを快適にするためのちょっと役立つ情報をお届けいたします。
今回は、「日本中、いない家はない」というほど住まいにつきものの
悩みの種なのがゴキブリ・・・何とかして、我が家から絶滅はできないものでしょうか。
そこで、今回は、その生態を知った上で、撃退するコツをお届けします。



封じ込める鍵は、水場に近づけないこと！！

ゴキブリ対策は、まず、清潔にすることがら始めましょう。超がつくほどの雑食性のゴキブリは、野菜くずや食べ残しから、化粧品や消しゴムですらエサにするといわれるほどしぶといのです。生ゴミを毎日処理するのはもちろん、食品は密封容器の中に入れて保存し、部屋は常に清潔を心がけましょう。

また、進入経路を断つことも大切です。ほんの少しの隙間からでも侵入しますので、窓には網戸を取り付け、台所や浴室の排水口には網をかけておくと侵入しにくくなります。

ただ、1mm程度の若いゴキブリが人間の洋服などにくっついて、部屋を自由に移動し繁殖していくのもゴキブリのしぶとい点。完全に進入経路を潰すのは不可能かもしれません。

しかし、そんなゴキブリにも弱点があります。それは水です、ゴキブリは水さえあれば1ヶ月は生きる反面、水がないと3日くらいで死んでしまうため、台所などの水気は夜寝る前に拭き取っておくことが撃退のポイントになります。また、杉の香りや、針葉樹でできたシダーウッドオイルなどを嫌いますので、水場の周りに置いておくと効果があります。

ゴキブリ撃退の最終兵器、ホウ酸団子を作ろう！！

侵入経路をふさいでも、エサになりそうなものをシャットアウトしても、ゴキブリの数が減らないようなら、最終手段としてホウ酸団子がオススメです。

ゴキブリに脱水症状を起こさせて撃退することができます。ホウ酸は揮発しませんので、スプレー式の殺虫剤などと違って、口にしない限り人への害は少ないものです。

ただ、人間が間違っても同様に脱水症状を起こす危険性がありますので、注意が必要です。また、食べ物を放置したままでは、ゴキブリはそちらに釣られていきますので、効果はありません。



ホウ酸団子の作り方

左記材料を耳たぶくらいの固さになるように、ゴム手袋をしてこね直系約2cmの団子にし、直射日光の下、およそ1週間乾燥させましょう。

ホウ酸は、粘膜や消化管などから吸収されやすく人体に有害なので、作るときは必ずゴム手袋をしてください。

できた団子は台所の流し台の下、引き出しの奥、冷蔵庫の裏、ガスレンジの下の際間などの暖かく、ゴキブリが潜伏していそうな場所に設置し、数ヶ月～1年で取り替えるようにします。ベットや乳幼児の手の届く場所には絶対に置かないようにしてください。

ホウ酸団子の材料

- ・ホウ酸・・・100g
- ・小麦粉・・・200g
- ・すりおろした玉ねぎ・・・大さじ2杯
- ・水・・・約100g
- ・砂糖・・・大さじ2杯
- ・牛乳・・・少々

プチ情報

自然の力でオーガニックな虫除け対策

皆さんは、蚊などの防虫はどうしていますか？殺虫剤や化学薬品を使った防虫が一般的に連想されがちですが、ここでは趣向を変えて、ハーブなどの自然素材を使ったオーガニックな虫除け法をご紹介します。

虫除け効果のあるゼラニウム

ハーブの中でも特にハーブゼラニウムが虫除けに適していて、ヨーロッパでは窓際に植えて虫除けに使っています。

日当たりの良い場所に置き、土が乾いたら水をあげるだけで大丈夫なので、お手入れも簡単です。

アロマオイルで虫除け

窓際にハーブの鉢植え等が置けない場合には、アロマオイルを活用すると良いでしょう。殺虫効果はありませんが、特定の臭いを嫌うので虫除けになります。ラベンダー、ローズマリー、ユーカリなどが期待できます。



TOYAスマイル倶楽部事務局

今治市玉川町中村甲677-7

有限会社十弥工務店内

TEL (0898)36-8182 FAX (0898)36-8183

E-mail : toya-info@toya.co.jp

URL : http://www.toya.co.jp